

塩田町分区域の街なみ環境整備  
(第1回変更)

(嬉野市)

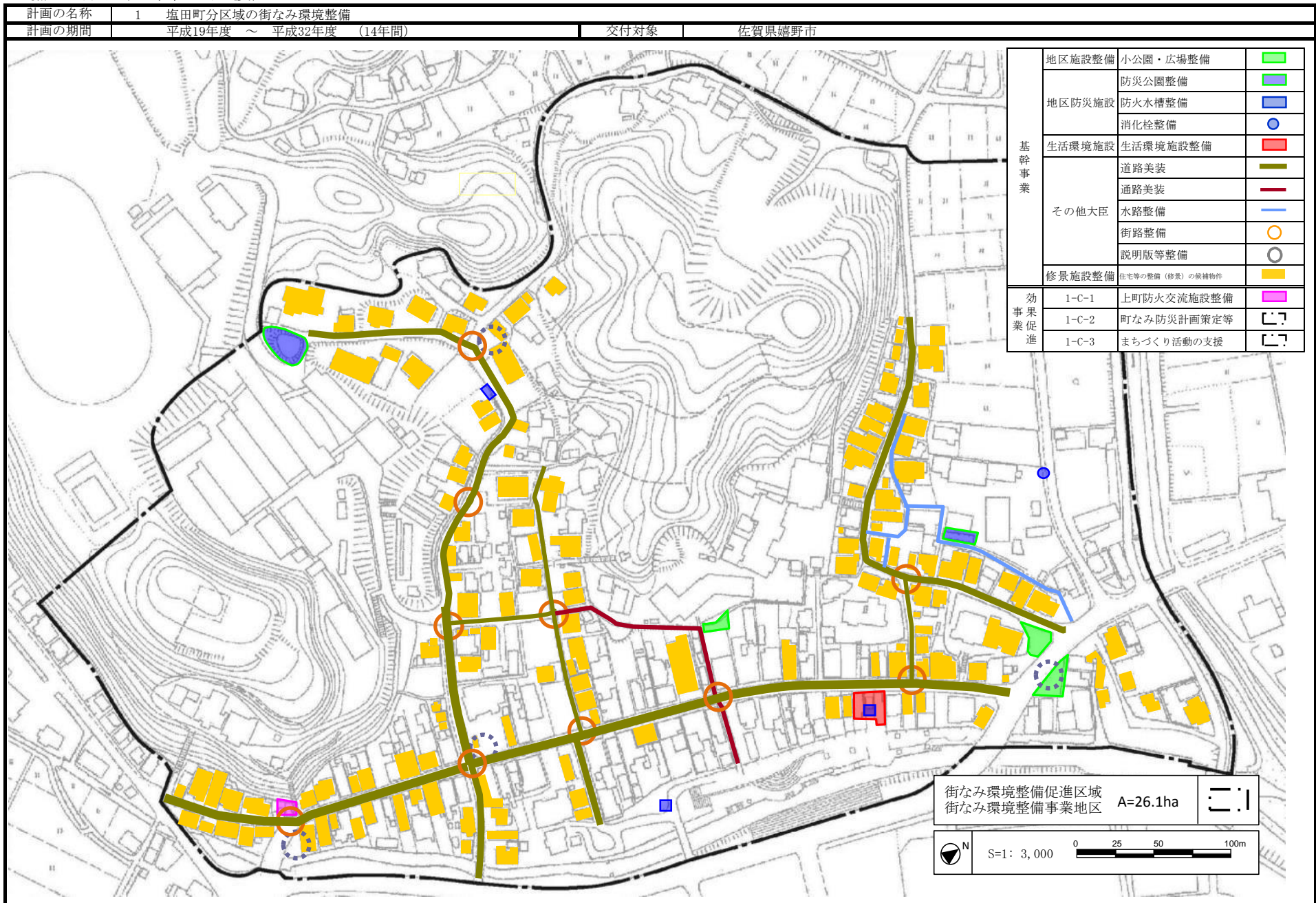
平成27年2月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成 27 年 2 月

計画の名称	1 塩田町分区域の街なみ環境整備																											
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）					交付対象	嬉野市																					
計画の目標	『伝統的建造物群保存事業との連携により、地域の町並み景観の保存と活用を図ることで来訪者等へのホスピタリティが確保されつつも、住民が塩田津固有の歴史文化に誇りを持って生活できる質の高い環境の維持形成を目指す。』																											
計画の成果目標（定量的指標）	・塩田町分区域への来訪者数の平成22年度（3,000人 H22.11現在）比1.2倍																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3" rowspan="2">定量的指標の定義及び算定式</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23)</th> <th>中間目標値 (H25)</th> <th>最終目標値 (H27)</th> </tr> <tr> <td colspan="3">交流施設である旧検量所での来訪者記帳数の増加率を算定する。 (来訪者増加率%) = (最終及び中間年次の来訪者数 - 平成22年度末の来訪者数) / (平成22年度末の来訪者数) × 100</td> <td>0%</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> </tr> </table>											定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23)	中間目標値 (H25)	最終目標値 (H27)	交流施設である旧検量所での来訪者記帳数の増加率を算定する。 (来訪者増加率%) = (最終及び中間年次の来訪者数 - 平成22年度末の来訪者数) / (平成22年度末の来訪者数) × 100			0%		20%	
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値			備考																						
			当初現況値 (H23)	中間目標値 (H25)	最終目標値 (H27)																							
交流施設である旧検量所での来訪者記帳数の増加率を算定する。 (来訪者増加率%) = (最終及び中間年次の来訪者数 - 平成22年度末の来訪者数) / (平成22年度末の来訪者数) × 100			0%		20%																							
全体事業費	合計 (A+B+C)	109	百万円	A	92	百万円	B	0	百万円	C	17	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	15.6%														
<b>交付対象事業</b>																												
<b>A 基幹事業</b>																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
								H23	H24	H25	H26	H27																
1-A-1	住宅	一般	嬉野市	直/間	市/個人	塩田・町分地区街なみ環境整備事業	伝統的な建物を活かした住環境の整備や住宅等の修景等 26.1ha						92															
合計													92															
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考												
										H23	H24	H25	H26	H27														
合計													0															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考														
<b>C 効果促進事業</b>																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考												
										H23	H24	H25	H26	H27														
1-C-1	住宅	一般	嬉野市	直接	市	-	上町防災交流施設整備	面積S=約140㎡	嬉野市						16													
1-C-2	住宅	一般	嬉野市	直接	市	-	防災計画、本計画の見直し、事後評価等の調査	街なみ防災計画作成等	嬉野市						0.5													
1-C-3	住宅	一般	嬉野市	間接	地元協議会	-	まちづくり活動への支援	交流会や勉強会の開催	嬉野市						0.5													
合計													17															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考														
1-C-1	木造建築が連続する街なみにおいて、区域北側に整備済みである町並み防災交流センターと対極をなすように区域南側の消防分団詰所を棟続きの隣家との一体的修理を図ることで地震や大火などの際の早期消防活動を実現するとともに、普段からの安全安心の拠り所として交流可能な防災施設を整備する。																											
1-C-2	防災意識づくりのための防災計画の作成、継続事業の移行版を脱しない本計画について規定区域にとられない体系的な計画再編や本事業の評価調査等を実施する。																											
1-C-3	既締結のまちづくり協定を活かして今後の活動の支援等を図り、賑やかで持続的な住民生活のソフト面の強化を図る。																											

# 整備方針図 (地域住宅支援)



街なみ環境整備方針説明書

都道府県	佐賀県	市町村名	嬉野市	地域名	塩田・町分	
区 域 現 況	区域の概要	長らく水上交通の中心地でありその後宿場機能も重なることで繁栄を極めた塩田であるが、昭和9年に全線開通した旧国鉄有明線による船運の衰退と、昭和37年の大洪水を契機とした河川改修により、町並みをとりにくく状況は変化する。しかしながら、鉄道開通に際しても西側沿道の曳家、国道498号についてもバイパス整備となることで街なみの骨格的な構造は変化することなく、威風ある居蔵造町屋敷が旧長崎街道に連続する街なみ景観を今に伝えている。				
	道路の現況	市道塩田宿線（旧長崎街道）を骨格として同上福中央線、同塩田袋線との交差点にはかつての札の辻も確認できる。北側で国道498号が区域を分断するが、枳形遺構も残りかつての地割を継承した道路構成が今もって見られる。区域西側は回遊ルートでもある同山下線から同宮ノ元上福線によって画される。				
	公園等の現況	町屋敷が連続する街なみは長らく公的空間である長崎街道を骨格として人々が結びつけられ、街道西側に鎮座する寺院境内等がその役割を担ってきたため公園はない。しかしながら昭和58年に完了した塩田川の河川改修にともない現在の浦田川沿岸にみなと広場が整備されている。				
	地域住民のまちづくり活動の概要・	まちおこしを目的に地元有志により「塩田塾」が平成2年に結成され、その活動が平成11年の提案公募型地域活性化事業（旧通産省補助）につながり住民を巻き込んだまちづくりへと発展し、地元主体の「町並み研究会」も誕生し、今日まで活発に町並みウォッチングなどの活動を展開している。				
区 域 の 整 備 に 関 する 基 本 方 針	整備の目標	伝統的建造物群保存事業との適切な役割分担のもと、住民が誇りを持って生活できる環境と来訪者等へのホスピタリティが確保された市民共有の財産として、区域の街なみ景観の保存と活用を図り、持続可能な塩田固有の歴史文化の維持形成を目指す。				
	整備の時期	平成19年度～平成32年度（14年間）				
	地区施設等の整備に関する基本方針	小公園等	国道498号開通後残地化している道路用地を枳形広場及びポケットパークとして整備することで伝統的な空間構成の再生とともに人の滞留できるスペースを確保する。また、御浜蔵付近にある井戸を中心とした広場整備により地域コミュニティの向上を目指す。			
		防災施設等（事業済）	現存する水槽やため池の機能強化と新規消防水利の整備を図り区域の防災性能を強化する。特に新規消防水利は耐震性貯水槽として区域の公共用地にバランス良く配置する。このため同貯水槽の1つを旧検量所に設定し住民による主体的な防災活動を支援する。区域南側については、上福溜池を消防団あるいは住民利用の防火池とするなど区域の防災性能を地域活動としても高めていく。			
		集会交流所（事業済）	旧検量所とともに、南接する茅葺のくど造町家建築の公有化を図り、防災拠点と集会機能の一体的な（仮）町並み防災・交流センターを形成することで来訪者との交流や各種イベント開催にも合理的な地区の集会交流所の整備を図る。			
		その他	（道路）街なみの骨格である市道塩田宿線を中心として、必要な履歴調査を行い、排水性を確保しつつ伝統的な路面高による美装を行い、生活環境の改善と両立した風格のある通り景観の維持形成を図る。（通路）区域を有機的に連携可能とする通路については歴史的風致に調和可能な地道風や自然石ペイヴメントによる効果的な美装による通路整備を行う。（水路）絵図に確認できる水路のうち可能な箇所については自然石護岸による伝統的な水面の開渠整備を図り、区域に潤いを与える。（街灯）美装化を実施する道路の交差点付近に街灯を整備する。（説明板）区域のエントランスやかつての札の辻に街なみのガイドダンスを配置する。			
	関 注 す る 宅 等 基 本 整 備 方 針 に	住 宅	伝統的建造物群保存地区保存計画に示される補助基準にしたがう修景誘導等により区域に相応しい街なみの景観形成を図る。また民地に依存する水路護岸等もかけがえのない景観資源として、工作物や環境要素への修景も誘導する。			
		敷 地	敷地の区画形質については、特に分筆と履歴に従わない合筆を避け、接道部分への主屋の新築等を抑制することで、石積や石垣、生垣や樹木が連続する町並み空間を維持形成する。			
その他の事項	伝統的建造物群保存事業により現存する伝統的建造物が修理されるため、一方でこれらと調和する質の高い公共空間の景観整備とコンスタントな住宅等の修景の実施が必要となる。					

案内図・位置図

塩田・町分

地区

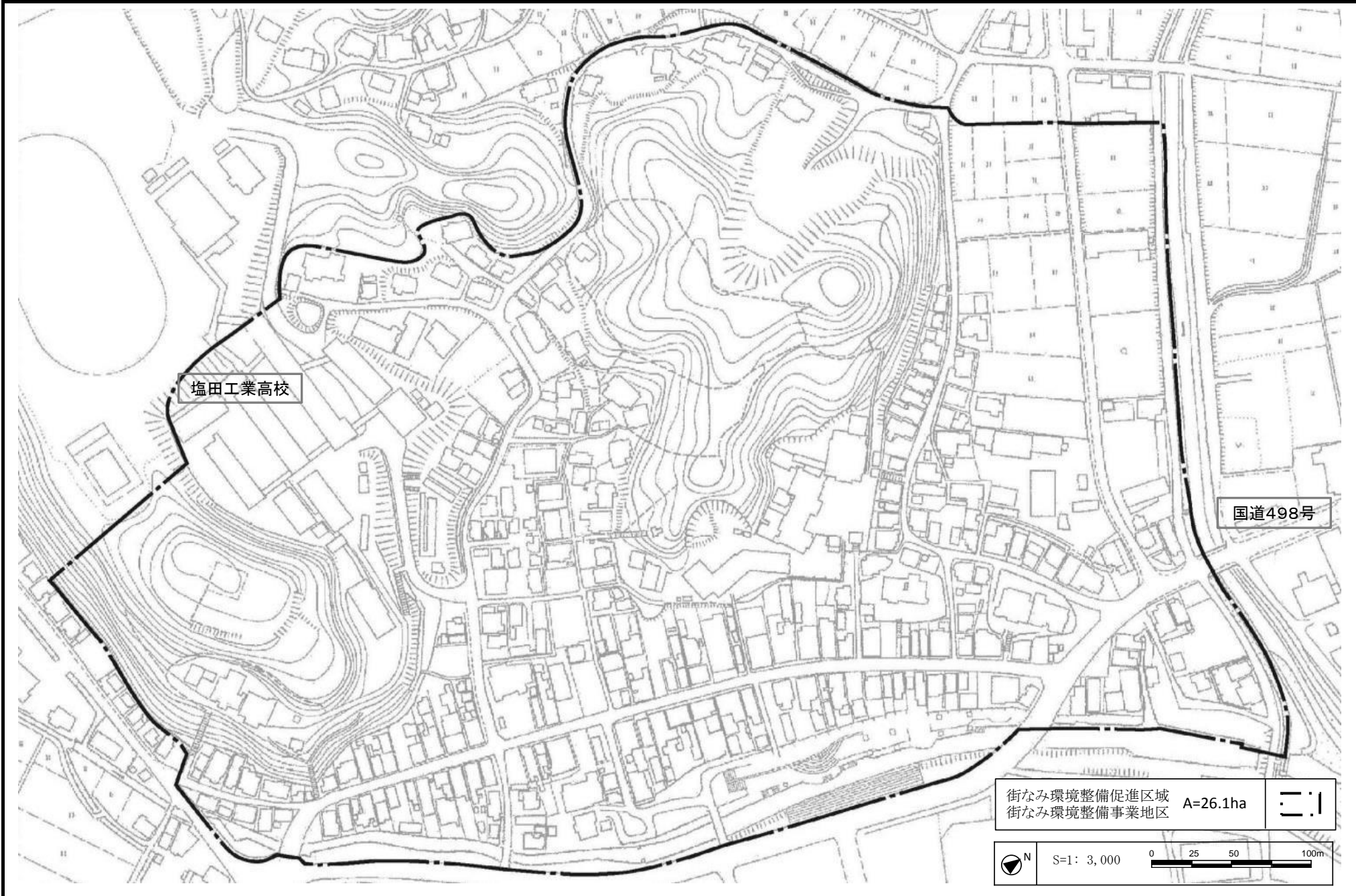
位置図

案内図



区域図（地域住宅支援）

計画の名称	1 塩田町分区域の街なみ環境整備	交付対象	嬉野市
計画の期間	平成19年度～平成32年度（14年間）		



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(街かんタイプ)

計画の名称: 塩田・町分地区街なみ環境整備事業

地方公共団体名: 嬉野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。(嬉野市総合計画)	○
②景観形成を図るべき地域として位置付けられている又は位置付けられる予定である。 (地域名称等:重要伝統的建造物群保存地区 塩田津)	○
③地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
④地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新      イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保      エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進      カ 地方定住の推進      キ 住宅・建築物の安全・安心確保 ク 良好な住環境の整備      ケ 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○